

来年度以降の活動について

気象庁 大気海洋部 気候情報課

来年度(令和7年度)の活動計画

- ①異常気象分析検討会の分析結果の更なる調査
- ②気候系監視速報の改善
- ③分析ツールの活用と拡充
- ④気候系診断会議・メーリングリストの活用
- ⑤異常気象分析検討会の開催

来年度(令和7年度)の活動計画

①異常気象分析検討会の分析結果の更なる調査

- ✓「2024年夏の顕著な高温・7月下旬の北日本大雨」に関する分析検討結果について、前年と同様に概要論文として纏め、日本気象学会レター誌に投稿(2025年1月30日)。JpGUでも発表予定。
- ✓ 2024年夏の海洋熱波の影響に関する調査結果をJpGUで発表予定、及び論文化も検討。
- ✓ 記録的な中緯度帯対流圏気温の高温に対する、中緯度帯の高海面水温の影響に関して更に分析、論文化も検討。

②気候系監視速報の改善

- ✓ 日本・世界の天候と関連する循環場の特徴をとりまとめた「気候系監視速報」をPDF形式からhtml形式にし、図の充実等をはかる予定。

来年度(令和7年度)の活動計画

③分析ツールの活用と拡充

- ✓ 今年度導入したツールを活用して分析を実施。
- ✓ 検討会委員・作業部会員と連携し、一層の拡充を検討。

④気候系診断会議・メーリングリストの活用(継続)

- ✓ 気候系診断会議及びメーリングリストを通じて異常気象等の気候解析や議論・検討を実施。

⑤異常気象分析検討会の開催

- ✓ 社会的影響の大きな異常気象が発生した場合等を開催し、その現象及び要因を分かりやすく社会に解説。

今後の活動に関する意見交換

- 異常気象に関する社会の関心
- 異常気象に関し、より分かりやすく伝えるために